

JBAバイオエンジニアリング研究会・新小委員会
バイオ由来製品の開発を加速するDX化・機械化・自動化
—汎用性の高い省力化、知識獲得から、人材育成まで—

プレ討論会：バイオ由来製品開発のボトルネックは何か

国内培養技術者育成の重要性が認識され、具体的活動が始まっている。バイオエンジニアリング研究会では、前小委員会活動（バイオ人材DX小委員会）を継続、発展させ、新たな小委員会「バイオ由来製品の開発を加速するDX化・機械化・自動化」をスタートする。小委員会では、汎用性の高い省力化、知識獲得から、人材育成まで取り上げ、生産プロセスを実証する際に活用が欠かせない受託培養企業群の在り方（不足な点など）、新規参入が実生産までたどり着くために足りないこと等についても検討し、政策提言や、新規PJ立ち上げにつなげたいと考えている。小委員会スタートにあたり、プレ討論会を開催する。3つの話題提供後、自由闊達な意見交換をお願いしたい。

開催日時：2024年3月21日（木）14時～15時30分

セミナー形式：MS-Teams（定員500名）

主催：（一財）バイオインダストリー協会（JBA）バイオエンジニアリング研究会

協賛：日本生物工学会（予定）

14:05～14:20 小委員会の目指す方向性

長森 英二 氏 大阪工業大学 准教授

【話題提供～東西のバイオファウンドリ拠点から】

14:20～14:35 ものづくりの社会実装を加速する「統合型バイオファウンドリ®」

服部 亮 氏 （株）バックス・バイオイノベーション 取締役

14:35～14:50 バイオリファイナリー技術のプラットフォームを構築する

バイオファウンドリ事業について(仮題)

古城 敦 氏 Green Earth Institute（株）バイオファウンドリ研究所長

14:50～15:30 自由討論～バイオ由来製品開発のボトルネックは何か（40分）

オーガナイザー：中川 智 JBA事業連携推進部長

コメンテーター：長森 英二 氏、服部 亮 氏、古城 敦 氏

大淵 貴之 氏 日揮ホールディングス（株）サステナビリティ協創ユニット

バイオものづくりチーム プログラムマネージャー

（バイオエンジニアリング研究会会員）

西八條正克 氏 ネクスレッジ（株）GxP事業部 シニアコンサルタント

東京大学大学院（バイオエンジニアリング研究会会員）

尾崎 克也 JBA先端技術・開発部 部長（NEDOバイオものづくりプロジェクト

M01テーマ事務局）

橋本 伸二 JBA先端技術・開発部 部長（バイオエンジニアリング研究会事務局）

参加費無料、公開 JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2024年3月19日（火）

お問合せ：（一財）バイオインダストリー協会（担当：橋本、矢田、岸本）